別紙1

浦添総合病院救急科専門研修プログラム

連携施設概要 目次

- 2) 大浜第一病院
- 3) 沖縄協同病院
- 4) 北部地区医師会病院
- 5) ハートライフ病院
- 6) 那覇市立病院
- 7) 豊見城中央病院
- 8) 南部徳洲会病院
- 9) 沖縄赤十字病院
- 10) 中頭病院
- 11) 沖縄県立八重山病院
- 12) 沖縄県立宮古病院
- 13) 公立久米島病院
- 14) 沖縄県立中部病院
- 15) 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター
- 16) 琉球大学医学部付属病院
- 17) 済生会千里病院千里救命救急センター
- 18) 産業医科大学救命救急センター
- 19) 聖マリア病院
- 20) 鹿児島県立大島病院
- 21) 昭和大学病院
- 22) 東京都多摩総合医療センター
- 23) りんくう総合医療センター
- 24) 中部徳洲会病院
- 25) 千葉大学医学部附属病院 26) 独立行政法人地域医療機能推進機構中京病院
- 27) 沖縄県立北部病院

2) 大浜第一病院救急科

(1)救急科領域関連病院機能:地域二次救急医療機関

(2)指導者:その他の専門診療科医師(内科、外科、整形外科ほか)

(3)救急車搬送件数: 1850/年

(4)救急外来受診者数:7500 人/年

(5)研修部門:救急初療室、病棟、手術室

(6)研修領域と内容

i.1次から3次まで多様な疾患に対する初期診療、救急手技

ii 病棟における入院診療(主に外科、外傷)

(7)施設内研修の管理体制:救急科領域専門研修管理委員会による

(8)週間スケジュール

時	月	火	水	木	金	土	日
8			当	直申し送り)		
9							
10	抄読会	抄読会	抄読会	抄読会	抄読会	抄読会	
11							
12			救急外来	、病棟			
13							
14							
15							
16							
17							
18			当	直申し送り)		

3) 沖縄協同病院(連携施設)

- (1) 救急科領域の病院機能:救急指定病院(二次救急病院)
- (2) 指導者: 救急科指導医(学会) 1名, 救急科専門医(学会) 2名 その他の専門診療科医師(総合内科1名)
- (3) 救急車搬送件数:4,049/年
- (4) 救急外来受診者数: 26, 296 名
- (5) 研修部門: 救急センター, 麻酔科, ICU
- (6) 研修領域
- i. クリティカルケア・重症患者に対する診療
- ii. 心肺蘇生法·救急心血管治療
- iii. ショック
- iv. 重症患者に対する救急手技・処置
- v. 救急医療の質の評価 · 安全管理
- vi. 救急医療と医事法制
- vii. 一般的な救急手技・処置
- viii. 救急症候に対する診療
 - ix. 急性疾患に対する診療
 - x. 外因性救急に対する診療
 - xi. 小児および特殊救急に対する診療
- xii. 外科的·整形外科的救急手技·処置
 - (7) 研修内容(研修方策)
 - i. 救急室における救急診療(クリティカルケア・重症患者に対 する診療含む)
- ii. 外科的·整形外科的救急手技·処置
- iii. 外来症例の初療
- iv. 災害訓練への参加
- v. off the job training への参加
- (8) 研修の管理体制: 救急科領域専門研修管理委員会による
- (9) 給与:沖縄医療生活協同組合規定により支給
- (10)身分:正規職員(後期研修医)
- (11)勤務時間:日勤8:30-17:00
- (12)休日: 土曜日の午後と日・祝日
- (13) 当直: ER 当直 月 6 回
- (14)社会保険:健康保険,厚生年金保険,雇用保険,労災保険(病院負担)を適用
- (15)宿舎:なし
- (16)専攻医室:専攻医専用の設備はないが、病院医局内に個人スペース (机,椅子,棚)が充てられる.
- (17)健康管理:健康診断年1回. その他各種予防接種.
- (18)医師賠償責任保険:病院加入(個人加入については任意)
- (19)臨床現場を離れた研修活動:日本救急医学会,日本救急医学会地方会,日本臨床救急医学会,日本集中治療医学会,日本集中治療医学会会地方会,日本外傷学会,日本中毒学会,日本熱傷学会,日本集団災害医学会,日本病院前救急診療医学会など救急医学・救急医療関

連医学会の学術集会への1回以上の参加ならびに報告を行う.学会・研究会の参加費ならびに論文投稿費用は,沖縄医療生活協同組合「医師の学会・研究会参加規程」を適用し支給する.

(20)週間スケジュール

週間スケジュールを下記に示します.

時間	月	火	水	木	金	土	日			
08:00-08:30			モーニングカンファ							
08:00-08:30		救急外来申し送り								
08:30-09:00			ケースカン	ノファレンス						
09:00-10:00										
10:00-11:00		0 1			0 1	ER 研修				
11:00-12:00	CD III //女	Option	ER 研修	口工收	Option	08:30-12:30				
12:00-13:00	ER 研修	研修 (麻酔科,		ER 研修	研修 (麻酔科,					
13:00-14:00	or ICU研修	アンギオ	or ICU研修	or ICU研修	アンギオ					
14:00-15:00		エコ−検査)			「コー検査)					
15:00-16:00		14 18 旦 /			14 15 15 15					
16:00-17:00										
17:00-18:00		·	救急外来当直	•	·					

- 4) 北部地区医師会病院(連携施設)
 - (1) 救急科領域の病院機能:二次救急医療機関
 - (2) 指導者: 救急科指導医0名、救急科専門医0名
 - (3) 救急車搬送件数:1,964/年
 - (4) 救急外来受診者数:10,266人/年
 - (5) 研修部門:救急外来
 - (6) 研修領域と内容
 - I. 救急初期診療(BLS、ACLS、ICLS、JPTEC、JATEC)
 - II. 病院前診療
 - III. メディカルコントロール (MC 協議会)
 - IV. 集中治療
 - V. 離島・へき地診療応援
 - VI. 一般的な救急手技、処置
 - VII. オフザジョブトレーニングコースの履修
 - (7) 施設内研修の管理体制:専門研修管理委員会
 - (8) 週間スケジュール:

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
(8:30~9:00)			救急外来カン	ノファレンス		
8:30~17:30	研修領域	研修領域	研修領域	研修領域	研修領域	研修領域

- 5) 社会医療法人かりゆし会 ハートライフ病院(連携施設)
 - (1) 救急科領域の病院機能:二次救急医療機関、災害拠点病院(申請中)
 - (2) 指導者: 救急科専門医2名、その他の専門診療科専門医師(内科、外科、総合診療科、脳神経外科、循環器内科ほか)
 - (3) 救急車搬送件数:2450/年
 - (4) 救急外来受診者数:14766 人/年
 - (5) 研修部門: 救急外来、ICU、手術室、病棟、各種検査
 - (6) 研修領域と内容
 - VIII. 救急初期診療(BLS、ACLS、ICLS、JMECC、ITLS、JPTEC、JATEC)
 - IX. 病院前診療 (ドクターカー9月運用開始予定を含む)
 - X. メディカルコントロール (MC 協議会)
 - XI. 災害医療 (DMAT、MCLS、MIMMS、Hospital MIMMS)
 - XII. 集中治療(FCCS 履修)
 - XIII. 離島・へき地診療応援
 - XIV. 一般的な救急手技、処置
 - XV. 外科的·整形外科的救急手技·処置
 - XVI. オフザジョブトレーニングコースの履修
 - (7) 施設内研修の管理体制:専門研修管理委員会
 - (8) 週間スケジュール

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
8:00-8:30	前日	日の救急搬送患	者の検討会	研修医レクチャ	<i>,</i> —	
(8:30~9:00)	(ICU 回診) - 救急診療	(ICU 回診) 救急診療	(J-club)	(ICU 回診) 一 救急診療	(ICU 回診) 救急診療	ER 抄読会 (~9:30)
8:30~17:30	集中医療	集中治療	救急診療	集中治療	集中治療	救急診療 (~12:30)

当直翌日の午後は休み

6) 那覇市立病院

救急科領域関連病院機能:地域二次救急医療機関。

指導者:救急科専門医1名、その他の専門診療科医師(小児科、耳鼻咽喉科、

眼科ほか)

救急車搬送件数: 3900/年

救急外来受診者数:40000 人/年

研修部門:救急外来、他専門科外来・病棟(眼科・小児科・耳鼻咽喉科ほか)

研修領域

一般的な救急手技・処置

救急症候に対する診療

急性疾患に対する診療

外因性救急に対する診療

小児および特殊救急に対する診療

施設内研修の管理体制:救急科領域専門研修管理委員会による

週間スケジュール

時	月	火	水	木	金	土	日			
8	ER 当直	ER 当直申し送り								
9										
10										
11										
12										
13	ER 勤務									
14										
15										
16										
17										
	主要病		主要病							
	態レク		態レク							
18	チャ		チャ							
	ー・シミ		ー・シミ							
	ュレー		ュレー							
	ション		ション							

- 7) 社会医療法人豊見城中央病院(連携施設)
 - (1) 救急科領域の病院機能:二次救急医療機関、災害拠点病院
 - (2) 指導者: 救急科専門医2名、その他の専門診療科専門医師(内科、外科、総合診療科、脳神経外科、循環器内科ほか)
 - (3) 救急車搬送件数:4200/年
 - (4) 救急外来受診者数:2300 人/年
 - (5) 研修部門: 救急外来、手術室、各種検査、ICU、病棟
 - (6) 研修領域と内容
- i. 救急初療、クリティカルケア
- ii.病院前診療 (ドクターカー含む)
- iii. 一般的な救急手技、処置
- iv. 外科的·整形外科的救急手技·処置
- v. 外傷、クリティカルケア等に関するシミュレーションコースの履修
- (7) 施設内研修の管理体制:専門研修管理委員会
- (8) 週間スケジュール

	月	火	水	木	金	土	日
07:00~07:30		シャーナルクラブ	院内カンファレンス			ER勉強会	
07:30~08:00							
08:00~13:00		救急診	療、ICU、諸検査	上等			
13:00~17:30							
17:30~		-					

- 8) 医療法人沖縄徳洲会 南部徳洲会病院(連携施設)
 - (1) 救急科領域関連病院機能:地域二次救急医療機関
 - (2) 指導者: 救急科専門医2名、その他の専門診療科専門医師(外科、脳神 経外科、

整形外科、心臟血管外科、麻酔科、放射線科、循環器内科、小児科、泌尿器科)

- (3) 救急車搬送件数:3156/年
- (4) 救急外来受診者数:17600 人/年
- (5) 研修部門: 救急外来、他専門科外来、病棟
- (6) 研修領域と内容
 - i. 外科·整形外科的救急手技、処置
 - ii. 重症患者に対する救急手技、処置
 - iii. 病院前救急医療 (ドクターカー)・MESH (ドクターヘリ) 協力
 - iv. 離島救急/洋上救急
 - v. 災害医療、DMAT, TMAT
 - vi. 高気圧酸素治療部
 - vii. その他(屋上ヘリポートからのドクターヘリ直接受入・メディ カルコントロール・救急隊員教育(消防学校)
- (7) 施設内研修の管理体制:救急領域専門研修管理委員会による。
- (8) 週間スケジュール (案)

, ,, -	7 + /-					
	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
7:00-7:30		前日の救急	急搬送患者の検	討会 研修医	レクチャー	
7:30 - 8:15		ER 抄読会			外科カンフ	
					ア	
8:15 - 8:30			医 局	会		
(8:30~12:00)	E R	ER -	(内視鏡)	手術	E R	E R (12:30)
8:30~17:00	E R		E R			(12.50)

※当直翌日の午後は休み

※毎月第3水曜日 救急隊との合同症例検討会(16:00~18:00)

9) 沖縄赤十字病院(連携施設)

- (1) 救急科領域の病院機能:二次救急医療機関(救急告知病院)、災害拠点病院、地域メディカルコントロール (MC) 協議会中核施設
- (2) 指導者: 救急科専門医(学会) 2名(専従医1名)、 その他の専門診療科医師(脳神経外科3名、集中治療1名、循環器科3名)
- (3) 救急車搬送件数: 2500 件/年
- (4) 研修部門:救急部等
- (5) 研修領域
 - i. 救急症候・急性疾患・外傷に対する診療手順
 - ii. クリティカルケア・重症患者・ショックに対する診療
 - iii. 一般的な救急手技・処置
 - iv. 外科的·整形外科的救急手技·処置·手術
 - v. 重症患者に対する救急手技・処置
 - vi. 心肺蘇生法·救急心血管治療
 - vii. 病院前救急医療(メディカルコントロール)
 - viii. 災害医療(DMAT、赤十字救護班)
 - ix. 救急医療と医事法制
 - x. 各種検査(超音波、内視鏡等)
- (6) 研修内容(研修方策)
 - i. 救急搬入・外来症例の診療
 - ii. 病棟入院症例の管理
 - iii. ICU 入院症例の管理
 - iv. メディカルコントロール
 - v. 災害訓練への参加・指導
 - vi. off the job training への参加・指導
- (7) 研修の管理体制: 救急科領域専門研修管理委員会による
- (8) 給与:基本給53万円(別途時間外·当直手当支給)
- (9) 身分:嘱託医師
- (10) 勤務時間:日勤9:00-17:40
- (11) 休日: 土日祝日
- (12) 当直: ER 日直・当直 計月6回
- (13) 社会保険:健康保険、厚生年金保険、厚生年金基金、雇用保険、労災保険を適 用
- (14) 宿舎:なし
- (15) 専攻医室: 専攻医専用の設備はないが、病院医局内に個人スペース(机、椅子、棚)が充てられる。
- (16) 健康管理:健康診断年1回。その他各種予防接種。
- (17) 医師賠償責任保険:個人にて必須加入(日赤グループ医賠責)
- (18) 臨床現場を離れた研修活動:日本救急医学会、日本救急医学会地方会、日本臨床救急医学会、日本集中治療医学会、日本外傷学会、日本中毒学会、日本集団災害医学会など救急医学・救急医療関連医学会の学術集会への1回以上の参加ならびに発表を行う。学会発表については、交通費・宿泊費を支給する。但し、

指導医及び院長の承認が必要。

(19)週間スケジュール

月·金:0730-0800 救急症例検討会

水 : 0830-0900 外科・消化器内科カンファレンス

木 : 0830-0900 病棟回診(外科・内科)

1230-1300 研修医レクチャー

金 : 0800-0830 救急カンファレンス

10)中頭病院救急科

(1)救急科領域関連病院機能:地域二次救急医療機関

(2)指導者:その他の専門診療科医師(内科、外科、集中治療ほか)

(3)救急車搬送件数: 6000/年

(4)救急外来受診者数:30000 人/年

(5)研修部門:救急初療室、集中治療室、病棟、手術室

(6)研修領域と内容

i.1次から3次まで多様な疾患に対する初期診療、救急手技

ii. Acute Care Surgery (多発外傷、急性腹症など) に対する手術等の根本治療

iii. 集中治療室、病棟における入院診療

iv. ドクターカーによる病院前診療

(7)施設内研修の管理体制:救急科領域専門研修管理委員会による

(8)週間スケジュール

時	月	火	水	木	金	土	日			
8	当直申し送り・ICU 回診									
9		外来、病棟症例レビュー								
10		抄読会								
11										
12		救急外来、集中治療、病棟、								
13			専門外来	、手術、核	食査など					
14										
15						ER	勤務			
16						(シフ	'ト制)			
17										
18			当	直申し送り)					

11)沖縄県立八重山病院

(1)救急科領域関連病院機能:地域二次救急医療機関

(2)指導者:日本救急医学会専門医2名

(3)救急車搬送件数: 1600/年

(4)救急外来受診者数:16000 人/年

(5)研修部門: 救急室 (6)研修領域と内容

i. 1 次 2 次を主体として3次まで多様な疾患に対する初期診療、救急手技

ii.離島からの海上保安庁へリコプターによる急患搬送

iii.沖縄本島への自衛隊航空機による急患搬送

iv.洋上救急

v.文献抄読

(7)施設内研修の管理体制:研修管理委員会による

(8)週間スケジュール

	月	火	水	木	金	土	日
7:30-8:15			合同画				
			像カンフ				
			ア				
医師①	ER 業務						
8:30-17:00							
医師②			ER 業務				
9:00-18:00							

^{*}ICU 当直

^{*} 急患搬送ヘリ当番

12) 沖縄県立宮古病院(連携施設)

当院救急室は人口約5万5千人の宮古島において唯一の24時間開かれた全次対応の救急病院であり、年間総受診者数は約1万7千人、救急車搬送数も2000件を超える。科を問わず、子供から高齢者まで様々な患者が救急室を訪れるため、プライマリ・ケアを習得するには格好の研修機関である。

実際には各科上級医のサポートのもと、救急室を訪れる(救急車搬送、独歩来院を問わない)多種にわたる患者の診断、初期治療を担当する。

- (1) 救急科領域関連病院機能:二次救急医療機関
- (2) 指導者: 救急科専門医1名、救急科医師1名、その他の診療科専門医
- (3) 救急車搬送件数: 2,335/年
- (4) 救急外来受診者数:13,686/年 ※入院した患者のぞく
- (5) 研修部門:救急部
- (6) 研修領域
 - i. ER における2次、3次患者に対する救急手技・処置
 - ii. 急性疾患に対する診療
 - iii. 小児救急に対する診療
 - iv. 外因性救急に対する診療
 - v. 精神など特殊救急に対する診療
 - vi. 僻地医療·地域医療
- (7) 施設内研修の管理体制:救急科領域専門研修管理委員会による
- (8) 週間スケジュール

時間	月	火	水	木	金	土/日
8:00						
9:00						
17:00						
18:00					入院症例回	
16.00					診	

13) 公立久米島病院

1) 救急科領域関連病院機能:救急告示病院

2) 指導者: 救急科専門医 1名

総合内科専門医名

集中治療科専門医名

その他救急に携わってくださる専門医 小児科 1名

科 4名

3) 救急車搬送件数 : 271件/年

4) 救急外来受診者数 : 2,688人/年

5) 研修部門 : 総合診療科(救急室、病棟、外来)

6) 研修領域: i.救急室における救急外来診療(クリティカルケア・重症患者に対

する診療含む)

ii.重症患者に対する救急手技・処置

iii.救急医療の質の評価·安全管理

iv.地域メディカルコントロール(MC)

v.災害医療

vi.救急医療と医事法制

7) 施設内研修の管理体制: 救急科領域専門研修管理委員会による

8) 給与:基本給50万円(別途時間外・日当直手当支給)

9)身分:研修医(後期研修医)

10) 勤務時間:日勤 8:00~16:45

11)休日等:日·祝日、月曜日

12) 日当直:6~8回

13) 社会保険:健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険(事業主負担)

14)宿舎:有料宿舎あり(要申込)

15) 専攻医室:なし 病院医局内に個人スペースあり(机、椅子)

16)健康管理:健康診断年2回、その他各種予防接種(事業主負担)あり。

17) 医師賠償責任保険:病院加入

8) 週間スケジュール

時	火	水	木	金	土					
8	8:00-8:30 総合内科(新患)症例カンファレンス(当直申送り)									
10 11 12	9:00~12:00 救急·外来·病 棟	9:00~12:00 救急·外来·病 棟	9:00~12:00 救急·外来·病 棟	9:00~12:00 救急·外来·病 棟	9:00~12:00 救急·外来·病 棟					
13 14 15	13:00~16:00 病棟	13:00~16:00 病棟	13:00~16:00 病棟	13:00~16:00 病棟	13:00~16:00 病棟					
16 17 18	在宅診療	在宅診療	在宅診療	在宅診療	在宅診療					

- 14) 沖縄県立中部病院
- (1) 救急科領域の病院機能:一次~三次救急医療施設(救命救急センター)、災害拠点病院、地域メディカルコントロール(MC)協議会中核施設
- (2) 指導者: 救急科専攻医指導医は4名。救急医学会指導医1名、救急科専門医7名、その他の専門診療科専門医師(消化器科1名)、他科兼任含め救急科専門医14名が在籍し指導にあたる
- (3) 救急車搬送件数: 7800/年
- (4) 救急外来受診者数: 38000 人/年
- (5) 研修部門: 救命救急センター 、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、集中治療部、脳神経外科、一般外科、整形外科など
- (6) 研修領域と内容
 - i 救急室における救急外来診療(クリティカルケア・重症患者に対する診療含む)
 - ii 外科的・整形外科的・内科的救急手技・処置
 - iii 重症患者に対する救急手技・処置
 - iv 救急医療の質の評価 ·安全管理
 - v 地域メディカルコントロール(MC)
 - vi 災害医療
 - vii 救急医療と医事法制
- (7) 研修の管理体制: 救急科領域専門研修管理委員会による
- (8) 給与:沖縄県の規定による
- (9) 身分:診療医(後期研修医)
- (10) 勤務時間: 8:30-17:15
- (11) 社会保険:労働保険、健康保険、厚生年金保険、雇用保険を適用
- (12) 宿舎:なし
- (13) 専攻医室: 専攻医専用の設備はないが、救命救急センター内に個人スペース(机、椅子、棚)が充てられる。
- (14) 健康管理: 定期健康診断 年2回。その他各種予防接種。
- (15) 医師賠償責任保険:各個人による加入を推奨。
- (16) 日本救急医学会、日本救急医学会地方会、日本臨床救 急医学会、日本集中治療医学会、日本集中治療医学会地方会、日本外傷学会、日本中毒 学会、日本熱傷学会、日本集団災害医学会、日本病院前診療医学会など救急医学・救急 医療関連医学会の学術集会への 1 回以上の参加ならびに報告を行う。参加費ならびに論 文投稿費用は全額支給。また、臨床研究フェローシップへの年 4 回の参加と琉球大学及び他大学、当院のスタッフによる月 1 回程度のメンタリングに

基づく臨床研究指導。

(17) 週間スケジュール(救急診療と ICU・病棟診療は 6 か月ずつ別チームで行動する)

時	月	火	水	木	金	土	日
8	救急室	(初療室、	経過入院観	察室)申し	送り		
9							
10			救	(急診療			
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18		各科 求	対急回診	勉強会			

- 15)沖縄県立南部医療センター・こども医療センター(連携施設)
 - (1) 救急科領域の病院機能:三次救急医療施設(救命救急センター)、災害拠 点病院、地域メディカルコントロール(MC)協議会中核施設
 - (2) 指導者: 救急科専門医(学会) 4名、その他の専門診療科専門医師(整形 外科専門医師1名、総合内科医師1名)
 - (3) 救急車搬送件数:4430件/年
 - (4) 救急外来受診者数: 32000件/年
 - (5) 救急部門:救急室、集中治療室、一般病棟
 - (6) 研修領域
 - i. 救急室における外来初期診療
 - ii. 集中治療
 - iii. 心肺蘇生法
 - iv. 外傷
 - v. 救急一般
 - vi. 小児救急および特殊救急
 - vii. 病院前救急医療 (MC、消防ワークステーション)
- viii. 外科的救急手技・処置(初療室緊急回復を含む)
 - ix. 整形外科的救急手技・処置(初療室骨盤創外固定を含む)
 - x. 重症患者に対する救急手技・処置
 - xi. 血管内治療
 - xii 救急医療の質の評価 ・安全管理
- xiii. 地域メディカルコントロール(MC)
- xiv. 災害医療
- xv. 救急医療と医事法制
- (7) 研修内容
- xvi. 救急外来症例の初期診療
- xvii. 集中治療室の入院診療
- xviii. 一般病棟の入院診療
 - xix. 病院前診療(消防ワークステーション、自衛隊へリ添乗)
 - xx. オンライン・メディカルコントロール
 - xxi. 災害訓練への参加
 - xxii. off the job training
 - (8) 施設内研修の管理体制:専門研修管理委員会:救急科領域専門研修管理 委員会による。

(9) 週間スケジュール

時	月	火 (消防WS)	水 (消防WS)	木	金	土	日	
7:00~7:30		外傷カンフ						
7.00~7.30		ァレンス						
7:30~9:00			救	急カンファレ	ンス			
9:00~			抄読会					
~10:00		救命センター・ICU・一般病棟回診						
10:00~		診療	(救命センタ	-, ICU, -	一般病棟、消	当防WS)		
12:00~13:00			ミーティング					
14:30~15:30			NST回診					
~16:30								
16:30~17:00		救命セ	ンター・ICl	J•一般病棟	回診、当直	申し送り		

16) 琉球大学医学部附属病院(連携施設)

- (1) 救急科領域の病院機能:三次相当救急医療機関
- (2) 指導者: 救急科指導医2名
- (3) 救急車搬送件数:1,800/年
- (4) 救急外来受診者数:8,600 人/年
- (5)研修部門:救急外来、ICU、HCU、手術室、病棟、各種検査、MESH へリ

(6) 研修領域

- i. クリティカルケア・重症患者に対する診療
- ii. 病院前救急医療(MC・ドクターカー・ドクターヘリ)
- iii. 心肺蘇生法·救急心血管治療
- iv. ショック
- v. 重症患者に対する救急手技・処置
- vi. 救急医療の質の評価 · 安全管理
- vii. 災害医療
- viii. 救急医療と医事法制
 - ix. 一般的な救急手技・処置
 - x. 救急症候に対する診療
 - xi. 急性疾患に対する診療
- xii. 外因性救急に対する診療
- xiii. 小児および特殊救急に対する診療
- xiv. 外科的·整形外科的救急手技·処置
- xv. 地域メディカルコントロール

(7) 研修方法

- i. 外来症例の初療
- ii. 病棟入院症例の管理
- iii. ICU, HCU 入院症例の管理
- iV. 病院前診療 (MESH ヘリ on-the-job トレーニング)
- V. オンラインメディカルコントロール (MC), MC 協議会への参画
- Vi. 災害訓練への参加 (DMAT、MCLS、UDME、院内訓練、県防災訓練等)
- Vii. Off-the-job training への参加(AHA BLS, ACLS, PALS, ACLS-EP, JATEC 等)
- Viii. 離島・へき地診療応援
- (8) 施設内研修の管理体制:専門研修管理委員会 救急科領域専門研修管理委員会による
- (9) 週間スケジュール表

			週	間スケジュ-	ールま	ŧ		
時間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金田	翟日	土曜日	日曜日
8	#	■し送り(入	院•外来):	8:30 ~ 9:30,			\院· 外来)	
9	外来診療 On the job:9:30~						8:30	- 9:30
10	HCU 回診:9:30~10:30							
11		入院•外来診療 On the job					e·外来診療 n the job	
12						研修医ケース		
13	学生	▪研修医∶シ	ミュレーシ	ョン訓練		レポート		入院∙外来
14 15		入院·外来診療 On the job 学生·研修医希望曜日:救急車同乗実習				入院·外来診療 On the job		診療
16 17	<u> </u>		たは夜勤)				検討会	

- 17) 大阪府済生会千里病院(連携施設)
- ①救急科領域の病院機能:三次救急医療機関(救命救急センター)、災

害拠点病院、ドクターカー配備、地域メディ カルコントロール (MC) 協議会中核施設、地域二次救急医療機関

②指導者:救急科指導医(学会)2名、救急科専門医(学会)10名、

その他の専門医(外傷2名、麻酔科1名、循環器内科3

- 名、脳神経外科1名、整形外科2名、外科5名等)
- ③救急車搬送件数:約3500/年
- ④研修部門:千里救命救急センター、麻酔科、外科、整形外科
- ⑤研修領域
- (ア) クリティカルケア・重症患者に対する診療
- (イ) 病院前救急医療 (MC・ドクターカー)
- (ウ) 心肺蘇生法・救急心血管治療
- (エ) <u>ショック</u>
- (オ) 重症患者に対する救急手技・処置
- (カ) 救急医療の質の評価 ・安全管理
- (キ) 災害医療
- (ク) 救急医療と医事法制
- (ケ) 一般的な救急手技・処置
- (コ) 救急症候に対する診療
- (サ) 急性疾患に対する診療
- (シ) 外因性救急に対する診療
- (ス) 小児および特殊救急に対する診療
- (セ) 外科的・整形外科的救急手技・処置
- (ソ) 地域メディカルコントロール

⑥研修内容

- (ア) 外来症例の初療(麻酔、手術、カテーテル治療を含む)
- (イ) ICU 入院症例の管理
- (ウ) 病棟入院症例の管理
- (エ) 病院前診療(ドクターカー)
- (オ) オンラインメディカルコントロール
- (カ) 災害訓練への参加
- (キ) off the job training への参加
- ⑦研修の管理体制: 救急科領域専門研修管理委員会による
- ⑧給与:基本給:34万円、諸手当:約18万円(基本給は臨床経験に
- 応じて加算あり、1年毎に2万円加算)
- 9身分: 専攻医
- ⑩勤務時間:日勤8:30-16:40 夜勤16:30-8:50
- ①社会保険:健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険(病院負
- 担)を適用
- ⑩宿舎:なし
- ③専攻医室:専攻医専用の設備はないが、病院医局内に個人スペース (机、椅子、棚)が充てられる。
- ⑭健康管理:健康診断年2回。その他各種予防接種。
- ⑤医師賠償責任保険:病院加入(個人加入については任意)
- ⑥臨床現場を離れた研修活動:日本救急医学会、日本救急医学会地方

会、日本臨床救急医学会、日本集中治療医学会、日本集中治療医学会地方会、日本外傷学会、日本中毒学会、日本熱傷学会、日本集団災害医学会、日本病院前救急診療医学会など救急医学・救急医療関連医学会の学術集会への1回以上の参加ならびに報告を行う。参加費ならびに論文投稿費用は全額支給。

⑰週間スケジュール

週間スケジュールを下記に示します。

時	月	火	水	木	金	±	B			
7										
8			8:30-9:20 T	ーニング入院が	カンファレンス					
9		レクチャー	症例検討会	抄読会	研修医勉強会					
10		9:45-10:20 重症回診(ICU 病棟)								
11	救命医局会(月1回)									
12	ランチョンミーティング		初療対応、ICU・病棟業務、ドクターカー乗務、手術							
13										
14										
15										
16			16:30-17:00	イブニング入院	カンファレンス					
17			17.00 0.20	初療対応(夜	数 孝 の な)					
18			17:00-8:30	划炼对心(仪	到日 <i>いの)</i> 					

18)産業医科大学病院 救急科

- 1)救急科領域の病院機能:二次救急医療施設、災害拠点病院、地域メディカルコントロール (MC) 協議会中核施設
- 2)指導者: 救急科専門医5名(救急科1名、集中治療部4名)
- 3)救急車搬送件数:2015年度3780台/年
- 4)救急外来受診者数:2015 年度 9590 人/年
- 5)研修部門:救急科(救急外来、救急科病棟)、集中治療部
- 6)研修領域と内容

「救える命を1人でも多く」をミッションに、「救急のプロフェッショナル」を育成します。救急車を中心に walk-in も含め、軽症から最重症まで地域の基幹救急病院として診療にあたっています。重症症例(含:外傷)にも積極的に取り組み、救急外来での IABO 挿入、緊急開胸/開腹術も行っており、2016 年度から Acute Care Surgery も救急科で担う予定です。骨折は救急科整形班が手術から退院までを担っています。

大学病院であり、各専門診療科専門医が多数いて、特に ICU 専門医は 5 名おり、 重症患者はほぼ closed で管理しています。放射線科も積極的に IVR に協力いた だいています。

希望すれば救急プログラムの一環として、ICU、放射線科、外科、循環器科、 消化器科などのローテートも可能です。

また、抄読会、輪読会、リサーチカンファを通し、質の高い医療の実践を学べます。希望者は、研究、教育にも従事できます。

7)研修の管理体制:救急科領域専門研修管理委員会による

8)給与:学校法人産業医科大学、連携および特別連携施設それぞれの職員就業規則、職員給与規程によります

- 9)身分:専門研修プログラム専攻医(後期研修医)
- 10)勤務時間:原則日勤、一ヶ月間に 5-6 回の夜勤時には、夜勤の時間から勤務 し、翌日は午前中までの勤務
- 11)社会保険: 社会保険等あり(日本私立学校振興・共済事業団)
- 12)宿舎: あり。金額については幅があります。総務課にご確認ください。担当者: 椎木 (PHS:8360)
- 13)専攻医室:医局内に個人スペース(机、椅子、棚)が充てられる
- 14)健康管理:年1回。その他各種予防接種
- 15)医師賠償責任保険:施設賠償保険加入
- 16) 臨床現場を離れた研修活動:日本救急医学会、日本救急医学会地方会、日本臨床救急医学会、日本集中治療医学会、日本集中治療医学会地方会、日本外傷

学会、日本腹部救急医学会、日本集団災害医学会、など救急医学・救急医療関連医学会の学術集会への1回以上の参加ならびに報告を行う。参加費/交通費(3回まで)ならびに論文投稿費用は医局で負担。

17)週間スケジュール

産業医科大学病院 救急科 週間スケジュール

時	月	火	水	木	金	±	日	
7:30			輪読会			当番以外		
8:00			則休					
9:30		'	∃					
	救急外来、病棟対応*			抄読会、リサーチカン ファレンス	救急外来、 病棟対応*			
12:00			通	宜、昼食				
13:45	救急外来、病棟対応*			病棟カンファレンス	救急外来、 病棟対応*			
17:00			救外、入院	患者カンファレンス				

^{*} 空き時間は、自己学習、研究、教育

19) 聖マリア病院(連携施設)

- (1) 救急科領域の病院機能:三次救急医療機関(救命救急センター)、災害拠点病院、 ドクターカー配備、地域メディカルコントロール (MC) 協議会中核施設、地域 二次救急医療機関
- (2) 指導者: 救急科指導医(学会)2名、救急科専門医(学会)4名 その他の専門診療科医師(脳神経外科1名、集中治療1名、整形外科専 門医1名、内科専門医1名)
- (3) 救急車搬送件数:9683/年
- (4) 研修部門: 救命救急センター
- (5) 研修領域
 - i. クリティカルケア・重症患者に対する診療
 - ii. 病院前救急医療(MC・ドクターカー・ドクターヘリ)
 - iii. 心肺蘇生法·救急心血管治療
 - iv. ショック
 - v. 重症患者に対する救急手技・処置
 - vi. 救急医療の質の評価 · 安全管理
 - vii. 災害医療
 - viii. 救急医療と医事法制
 - ix. 一般的な救急手技・処置
 - x. 救急症候に対する診療
 - xi. 急性疾患に対する診療
 - xii. 外因性救急に対する診療
 - xiii. 小児および特殊救急に対する診療
 - xiv. 外科的·整形外科的救急手技·処置
 - xv. 地域メディカルコントロール
- (6) 研修内容(研修方策)
 - i. 外来症例の初療
 - ii. 病棟入院症例の管理
 - iii. ICU 入院症例の管理
 - iv. 病院前診療 (ドクターカー)
 - v. オンラインメディカルコントロール
 - vi. 災害訓練への参加
 - vii. off the job training への参加
- (7) 研修の管理体制: 救急科領域専門研修管理委員会による
- (8) 給与:基本給: 3年次333,100円/月、4年次352,400円/月、5年次371,700円/月(別途時間外・当直料1回50,000支給)
- (9) 身分:診療医(専攻医)
- (10)勤務時間:日勤8:30-17:00
- (11)休日:日・祝日、研修日1日/週
- (12) 当直: ER 当直 月 6 回
- (13)社会保険:健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険を適用
- (14)宿舎:なし
- (15)専攻医室: 専攻医専用の設備はないが、病院医局内に個人スペース(机、椅子、棚)が充てられる。
- (16)健康管理:健康診断年1回。その他各種予防接種。

- (17)医師賠償責任保険:病院加入(個人加入については任意)
- (18) 臨床現場を離れた研修活動:日本救急医学会、日本救急医学会地方会、日本臨 床救急医学会、日本集中治療医学会、日本集中治療医学会地方会、日本外傷学 会、日本中毒学会、日本熱傷学会、日本集団災害医学会、日本病院前救急診療 医学会など救急医学・救急医療関連医学会の学術集会への1回以上の参加なら びに報告を行う。学会発表時の参加費用は、全額支給。
- (19)週間スケジュール

週間スケジュールを下記に示します。

	月	火	水	木	金	土	日
7:30 ~ 8:30			抄読会				
8:30 ~ 9:00	朝カンファ	朝カンファ	朝カンファ	朝カンファ	朝カンファ	朝カンファ	
9:00 ~ 10:00	回診	センター長	回診	回診	回診	回診	
~ 11:00		回診	ER勉強会			ER勉強会	
	ER	נ		ER	ER	נ	
15:00 ~ 16:30		ER	ER	エコ一実習		ER	
16:00 ~ 17:00	回診	回診	回診	回診	回診	回診	
			放射線				

カンファ

20) 鹿児島県立大島病院

- 1. 救急科領域の病院機能:三次救急医療施設(救命救急センター)、日本救急 医学会専門医指定施設、基幹災害拠点病院、地域メディカルコントロール (MC)協議会中核施設
- 2. 指導者: 救急科専門医2名(うち指導医1名)、その他救急科医師2名
- 3. 救急車搬送件数 (救急科が診療):1996件/年
- 4. 救急外来受診者数(救急科が診療):14413人/年 当施設は平成26年6月、日本で初めての本格的な離島における救命救急 センターとして開設されました。奄美群島における人口12万人をカバー する唯一の救命救急センターとして、24時間受け入れを100%維持し続け ています。
- 5. 研修部門: 救急外来、手術室、カテ室、ICU・救急病棟、巡回診療、洋上救 急活動
- 6. 研修領域と内容
 - (ア)救急外来における救急外来診療(1次から3次までの幅広い診療だが、 重症例は救急科の管理となることが多い。超音波検査等を習熟する。)
 - (イ)外科的救急手技・処置(縫合処置から救急外来手術室での開胸・開腹等まで)
 - (ウ) 重症患者に対する蘇生目的の救急手技・処置 (PCPS 等まで)
 - (エ)救命救急センターICU、一般救急科病棟における入院診療
 - (オ)離島特有の病院間救急患者搬送(自衛隊を中心とした活動)
 - (カ)周囲を広大な海で囲まれた特有の洋上救急活動(海上保安を中心とした活動)
 - (キ)救急医療の質の評価 ・安全管理
 - (ク)学生・研修医・消防職員・海上保安職員院内研修教育
 - (ケ)地域メディカルコントロール (MC)
 - (コ)災害医療
 - (サ)救急医療と医事法制
- 7. 研修の管理体制:救急科領域専門研修管理委員会による
- 8. 週間スケジュール:別表
 - * 毎朝全研修医で夜間帯の患者における症例カンファ指導
 - * 消防職員・病院職員・地域訪問看護師等にて事後検証会を毎月開催
 - * 毎月開催される職員 BLS の指導
 - * 年間を通して開催される ACLS、BLS、JPTEC 等の講習会への参加・指導
 - * 年1回開催される大規模災害訓練に向けての職員の教育、指導

救急科週間スケジュール

	Я	火	水	木	金	±	В
7:30	ICU•病棟回診	ICU·病棟回診	ICU•病棟回診	ICU•病棟回診	ICU•病棟回診		
8:00	研修医早朝カンファ	研修医早朝カンファ	研修医早朝カンファ	研修医早朝カンファ	研修医早朝カンファ		
8:30	ICUカンファ	ICUカンファ	ICUカンファ	ICUカンファ	ICUカンファ	ICUカンファ	ICUカンファ
9:00	ER診療	ICU•病棟業務	ER診療	ICU•病棟業務	ER診療	ER診療	ER診療
15:00				ICU症例検討会			
17:00	タ方カンファ	タ方カンファ	タ方カンファ	タ方カンファ	タ方カンファ	タ方カンファ	タ方カンファ
18:00		事後症例検討会					

- 20) 昭和大学病院(基幹研修病院)
- (1) 救急科領域の病院機能:三次救急医療施設(救命救急センター)、救急告 示医療機関、災

害拠点病院、DMAT 指定医療機関、DMAT カー配備、地域メディカルコントロール

(MC)協議会中核施設

(2) 指導者: 救急科指導医 2名、救急科専門医 4名、集中治療専門医 1名 その他の専門診療科医師: 麻酔科 1名、脳神経外科 2名、整形外科

外科1名

- (3) 救急車搬送件数: 5,662件/年
- (4) 研修部門: 救命救急センター
- (5) 研修領域

1名

- i. クリテイカルケア・重症患者に対する診療
- ii. 病院前救急医療(Online MC, 東京 DMAT)
- iii. 心肺蘇生法·救急心血管治療
- iv. ショック
- v. 重症患者に対する救急手技・処置
- vi. 救急医療の質の評価・安全管理
- vii. 災害医療

viii. 救急医療と医事法制 など

- (6) 研修内容
 - i. 外来症例の初療
- ii. 入院症例の管理
- iii. 病院前診療
- (7) 研修の管理体制: 救急科領域専門研修管理委員会による
- (8) 給与:昭和大学の職務規定による
- (9) 身分:診療医(後期研修医)
- (10) 勤務時間:8:00-17:00
- (11) 社会保険: 労働保険、健康保険、共済年金保険、雇用保険
- (12) 宿舎:なし
- (13) 専攻医室: 専攻医専用の設備はないが、救命救急センター内のカンファランス室に

個人用の棚が充てられる

(14) 健康管理:年1回の健康診断、その他各種予防接種。

- (15) 医師賠償責任保険:各自の契約に委ねる
- (16) 臨床現場を離れた研修活動:日本救急医学会、日本救急医学会関東地方会、 日本臨床

救急医学会、日本集中治療医学会・地方会、日本外傷学会、日本中毒学会、日本集 本集

団災害医学会など救急医学関連医学会の学術集会へ1回以上の参加ならびに報告を行

う。

(17) 週間スケジュール

週間スケジュールを下記に示します。

時	月	火	水	木	金	土	日		
8	8:00-9:30 当直報告・	8:00-9:00 教授回診	8:00-9:30 当直報告	8:00-8:30 当直報告	8:00-9:30 当直報告・	8:00- 当直幸 病棟カ	设告・		
9	多職種合同カン ファレンス	9:00-10:00 抄読会10:00- 11:00 スタッ				病棟カンファ レンス (シフト制)			
10	海梅• 初磨	フ ミーテ 多職種合同カン ファレンス							
11	病棟・初療 病棟・初療 病棟・初療 病棟・初療 病棟・初療 病棟・初療 病棟・初療 病棟・初療 病様・初療 病様・初療 病様・初療 病様・初療 病様・初療 病様・初療 病様・初療 あんぱん おんぱん おんぱん おんぱん おんぱん かんぱん かんぱん かんぱん か								
12	2 ランチョンセミナー (週2回程度)								
13						病棟・	・初療		
14			病棟・初療			(シフ	ト制)		
15									
16									
17	CPC (月1回)								

- 22) 東京都立多摩総合医療センター
- (1) 救急科領域の病院機能:三次救急医療施設(救命救急センター)、ER 診療、 災害拠点病

院、DMAT 指定医療機関、DMAT カー配備、地域メディカルコントロール (MC) 協議

会中核施設

- (2) 指導者: 救急科指導医1名、救急科専門医4名、その他の専門診療科医師(集中治療科
- 1名、脳神経外科1名、整形外科1名、総合内科1名)
- (3) 救急車搬送件数: 9000 件/年(ER 8,000 台、救命救急センター 1,300 台)
- (4) 救急外来受診者数:45,000 人/年
- (5) 研修部門: 救命救急センター(救急初療室、救命救急センター病棟、ICU、 HCU)、
- ER、一般病棟
- (6) 研修領域
- i. 救急室における救急外来診療(クリテイカルケア・重症患者に対する診療を含む)
- ii. 病院前救急医療(MC・ドクターカー)
- ・ 救急車同乗による病院前救護
- ・伊豆諸島、小笠原諸島からのヘリ搬送要請事案への同乗
- iii. 心肺蘇生法·救急心血管治療
- iv. 集中治療室、救命救急センター病棟における入院加療
- v. 重症患者に対する救急手技・処置(ER・外科的・整形外科的救急手技・処置)
- vi. 救急医療の質の評価・安全管理
- vii. 災害医療

viii. 救急医療と医事法制

研修内容

- i. 病院前救護·診療
 - ii. 病院間搬送
 - iii. 外来での初療
 - iv. 入院症例の管理・検査・手術
- (7) 研修の管理体制:東京都立多摩総合医療センター救急科領域専門研修管 理委員会によ

る

(8) 週間スケジュール

時	月	火	水	木	金	土	日
8	8:00-8:30	モーニングレクラ	F+-				
9	9:00-11:00	朝カンファレンス	ス 新患プレゼンテ	ーションおよび重	症患者申し送り		
10	11:00-11:30) 回診(救命救急セ ス	センター・ICU・HCU	〕) 及び各患者担当	看護師とのショー	トカンフ	アレン
11			三宅教授回診				
12	****	・ ハカーの序体要数	1 = 1 \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	r 夕廷松本川1	エ矢ムじ		
13	教师教急で	ピンターの病保業務	・・ 小ツトフイン 刈	応・各種検査出し	手術など		
14		14:00~多職種リ	ハビリカンファ	14:00-14:30 看護的	币との合同カンファ		
15							
16							
17	傷カンファ	ECMO勉強会	抄読会	M&M カンファ	ECMOシミュレ ーション		
18	18:00 タカンフ		ファでの問題点解? 直者への申し送り	央の状況、日中の 新	f患プレゼンテーシ	ョン・浴	治療方
19		院内シニア連絡 会	ERカンファ	小児総合とのEC 月	MO勉強会(1回/)		
20				ECMO抄読会			

23) りんくう総合医療センター・大阪府泉州救命救急センター(基幹研修施設)

- 1) **救急科領域の病院機能**:三次救急医療機関(救命救急センター)、災害拠点病院、ドクターカー配備、地域メディカルコントロール(MC)協議会中核施設
- 2) 指導者: 救急科指導医(学会)3名、救急科専門医(学会)14名、その他の専門医(集中治療専門医1名、脳神経外科専門医1名、整形外科専門医1名、外科専門医10名、小児科専門医1名、IVR専門医1名)
- 3) 救急車搬送件数: 4500件/年
- 4) 研修部門:三次救急医療施設(大阪府泉州救命救急センター)、二次救急医療施設(りんくう総合医療センター)、災害拠点病院、地域メディカルコントロール(MC)協議会中核施設

5) 研修領域

- ① クリティカルケア・重症患者に対する診療
- ② 病院前救急医療 (MC・ドクターカー)
- ③ 心肺蘇生法·救急心血管治療
- ④ ショック
- ⑤ 重症患者に対する救急手技・処置
- ⑥ 救急医療の質の評価 ・安全管理
- ⑦ 災害医療
- ⑧ 救急医療と医事法制
- ⑨ 一般的な救急手技・処置
- ⑩ 救急症候に対する診療
- ① 急性疾患に対する診療
- ① 外因性救急に対する診療
- ③ 小児および特殊救急に対する診療
- (14) 外科的·整形外科的救急手技·処置
- (15) 病院前救急医療(ドクターカー)
- ⑥ 地域メディカルコントロール

6) 研修内容(研修方策)

- ① 外来症例の初療
- ② 病棟入院症例の管理
- ③ ICU入院症例の管理
- 4)病院前診療(ドクターヘリ)
- ⑤ オンラインメディカルコントロール
- ⑥ 検証会議への参加
- ⑦ 災害訓練への参加

⑧ off-the-job trainingへの参加

7) 研修の管理体: 救急科領域専門研修管理委員会による

8) 身分: 非常勤医師(後期研修医)

9) 給与: 月給 基本給

3年目 286,500円

4年目 301,500円

5年目 316,300円

診療手当 月額 80,000円

期末勤勉手当 年間 3.95ヶ月

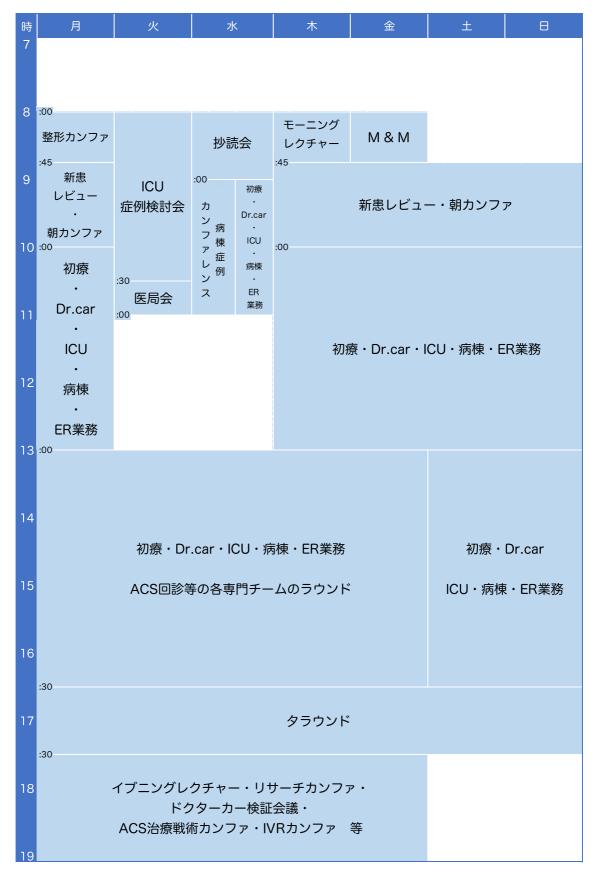
時間外勤務手当 宿日直手当

その他、該当者には通勤手当・住居手当・扶養手当あり。

- 10) 勤務時間:基本 8:45~17:15 日当直有(不定期)
- 11) 社会保険:健康保険、厚生年金、雇用保険、労災を適用
- 12) 宿舎: なし
- 13) 専攻医室: 専攻医専用の設備はないが、救命救急センター内に個人スペース (机、椅子、棚) が充てられる。
- 14) 健康管理: 職員健康診断 (年2回)、その他各種予防接種。
- 15) 医師賠償責任保険:各個人による加入を推奨。
- 16) 臨床現場を離れた研修活動:日本救急医学会、日本救急医学会近畿地方会、日本臨床救急医学会、日本集中治療医学会、日本集中治療医学会地方会、日本外傷学会、日本中毒学会、日本熱傷学会、日本集団災害医学会、日本病院前診療医学会、Acute Care Surgery学会、日本腹部救急医学会、日本小児救急医学会など救急医学・救急医療関連医学会の学術集会への1回以上の参加ならびに報告を行う。発表をともなう参加については、旅費ならびに論文投稿費用を全額支給。発表をともなわない参加については年一回まで参加費、旅費を支給。
- **17) 週間スケジュール**:循環器合同カンファレンス(月1回)、リサーチカンファレンス(月1回)、ドクターカー検証会議(月1回)、IVRカンファレンス(月2回)、整形カンファレンス(週1回)、抄読会(週1回)、モーニングレクチャー・イブニングレクチャー(不定期)
- 18) ステップアッププログラム(次頁参照)

いた評 実職床/シミュレーションを通じチェックリストを用いた評 (由を行う) (直を行う) (直を行う) (連数の)	担当者が集計し所長へ報告、最終判断を経て所長より通達・Step up該当者はMLにて情報共有	経て所長より通達 ・Step up該当者はMLにて情報共有	- OLD OT SUIT FOR ENGLISH CIE SEX ENGLISH CONTROL CONTROL CIE SEX ENGLISH CIE SEX ENGLISH CIE SEX ENGLISH CONTROL CIE SEX ENGLISH CIE SEX EN	
	担当者が集計し所長へ報告、最終判断を経て所長より通	経て所長より通達	· Step up吸出血をIVICで、III製状態	
			- 0+>> - 5 長長東/+N/I / 7 不耐哉 + 竹	
	_	・筆記テストを教育担当者が集計し所長へ報告、最終判断を	・履修確認後に教育担当者より通達	評価内容の通知方法
	指導医が評価する ※ テクニカルスキル評価完了後	指導医が評価する		
		Step 3へのstep upに必要なノンテクニカルスキルを複数の		2. ノンテクニカルスキル
	価を行う	内容について筆記テスト)		筆記試験または技能評価
	実臨床/シミュレーションを通じチェックリストを用いた評	知識の確認(JATEC、ICLS、FCCS、CSCA、MCに関する	W	1. テクニカルスキル
				Sten in > の間角が祥
		6. コミュニケーションに不備があれば		
		(上級医への報告・栢談)		
		5. 日常診療におけるコミュニケーション能力		
	5. PC3の内容の理解(PC3コースの受講	コミュニケーション能力		
	が望ましい)	4. チームリーダーとして活動する際に必要な		
ン能力	4.SSTTの内容の理解(SSTT座学コースの受講	MCを含む)		
3.多科・多職種連携に必要なコミュニケーショ	酔、CVC挿入など)が適切に施行できる	3. 勤務内容の理解(院内CSCA体制や最低限の		
2. 初療活動・全身管理についてのより深い理解	3. 基本的臨床スキル(気管挿管、全身麻	2. JATEC、ICLS、FCCSの内容の理解		
など、CSCAに関するコース受講修了)	2. コンサルテーションが適切にできる	25		(各Stepで獲得すべき技能)
1. CSCAの理解(MIMMS、DMAT、MCLS	1. ひととおりの全身管理ができる	1. オリエンテーション項目を全て履修している	必須オリエンテーション項目を全て履修していること	Step up へ向けての評価内容
	Step 3~昇格後~	4月第3~4週	4月第1~2週	Step up へ向けての評価期間
	の最後にフォローは必ずコメントする	の最後にフォローは必ずコメントする		
	・カンファレンス及びラウンド時の患者プレゼン	・カンファレンス及びラウンド時の患者プレゼン		
	と担当患者数を十分に配慮する	と担当患者数を十分に配慮する		
	・a直は担当患者の割り当てに際して、重症度	・a直は担当患者の割り当てに際して、重症度		
	当医としての責任を持つ	当医としての責任を持つ		
	・指導医(フォロー)が当該勤務帯における担	・指導医(フォロー)が当該勤務帯における担		
おけるa/A直は責任を持って指導に当たる	明確に割り当てる	明確に割り当てる		
・主治医チームメンバーまたは各勤務帯に	・a直は担当表作成時に指導医(フォロー)を	・a直は担当表作成時に指導医(フォロー)を		備考
0 0 0 0 0	17 世界書館は29年では17 17 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2			
750+07	※) 当時報期のa/A両は Bメンバーの特殊サテズのtenだってしているが可られる。			
	(3) 可多を口です、 可及になる可がノイコー 0 煮+): 一 - ・ 色彩岩を料回	がンオロー		
	ろと祈ら声をです :芥+ケキ・芥ギリ・ロンキロー	(2)b, d目の場合では、土治医ナームの上数医		
	(2)半日e目の場合には、a目またはG目が	クキロー クキロー ・		
	上級医がフォロー	(1)が直の場合には、i直またはa直が		
	(1)B, D直の場合には、主治医チームの	4. 指導医(フォロー)を必ず付ける		
	4. 指導医 (フォロー) を必ず付ける	メンバーとなることは不可		
	となることは原則不可	3. Step 2の医師2名が同時に主治医チーム		
	3. Step 2の医師と同時に主治医チームメンバー			
2. メンターへの参加不可	2. ホットライン模帯回	 ホットライン様帯不可 	オリエンテーションに専念	
1. 単独での初療患者対応可	1. 単独での初療患者対応は不可	1. 単独での初療患者対応は不可	・泉州救命での臨床業務開始に必須となる	可能な臨床業務
		※発表済み勤務表もa/A直の許可で変更可		
直近の勤務表作成から	直近の勤務表作成から	4月第3週	4月第1週	勤務表への反映
※三女事女原でノノー、ショ東県が一十女子 Step 4合格に関する通達の翌日以降	3.6万 3 日前で起と 9 首補の対コ文庫	上乙ぞン司] 元 元 元	3 d d d d d d d d d d d d d d d d d d d
母送母の母のサンターよう目の同さ、1年ファ	Stan 3小林三田中入油油の樹口之扇	2日本21日	が、一般に発回が	開始日安
	(R) # -			200 C 000 C 000 C
g/G直, 休日e直, C)直	B. D.南. 平只e.首	f. b	オリエンテーション	勤務可能レベル
4	З	2		Step

<標準的な週間スケジュール>



- 24) 中部徳洲会病院(連携施設)
 - (1) 救急科領域の病院機能:二次救急医療機関
 - (2) 指導者: 救急科専門医 5 名
 - (3) 救急車搬送件数:5,800/年
 - (4) 救急外来受診者数:44,680 人/年
 - (5) 研修部門: 救急外来、ICU、HCU、院内救急チーム
 - (6) 研修領域と内容 (ア) クリティカルケア・重症患者に対する診療
- (イ) 病院前救急医療(MC・ドクターカー)
- (ウ) 心肺蘇生法・救急心血管治療
- (エ) ショック
- (オ) 重症患者に対する救急手技・処置
- (カ) 救急医療の質の評価 ・安全管理
- (キ) 災害医療 (DMAT、TMAT)
- (ク) 救急医療と医事法制
- (ケ) 一般的な救急手技・処置
- (コ) 救急症候に対する診療
- (サ) 急性疾患に対する診療
- (シ) 外因性救急に対する診療
- (ス) 外科的・整形外科的救急手技・処置
 - (7) 施設内研修の管理体制:専門研修管理委員会
 - (8) 週間スケジュール

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	月~土
6:30~7:00				抄読会			
7:00~7:40		前	日入院患者	皆カルテ回]診		
7:40~7:50			ICU カンフ	ファレンス			
7:50~8:15		救急カン	/ファレン	ス(初期の	研修医)		
8:15~9:30	病棟	回診(水・	…全体回記	彡、金…リ	ハビリ回	診)	
8:30~12:00		救急外来					
14:00~15:00		症例カン					•
		ファレンス					ウォークイン
16:00~19:00			救急	外来			
18:00~19:00			画像力		画像力		19:00
			ンファ		ンファ		~
			レンス		レンス		当直

その他月一回勉強会

- 25) 千葉大学医学部附属病院
- 8-1 救急科領域の病院機能:三次救急医療施設、災害拠点病院、地域メディカルコントロ
- ール(MC)協議会中核施設
- 8-2 指導者: 救急科指導医 4 名、救急科専門医 14 名.

(集中治療専門医8名、外科専門医2名)

- 8-3 救急車搬送件数: 延べ 2500件/年
- 8-4 救急外来受診者数:延べ7000人/年
- 8-5 研修部門: 救命救急センター
- 8-6 研修領域
 - i. クリティカルケア・重症患者に対する診療
 - ii. 病院前救急医療(MC)
 - iii. 心肺蘇生法・救急心血管治療
 - iv. ショック
 - v. 重症患者に対する救急手技・処置
 - vi. 救急医療の質の評価 ・安全管理
 - vii. 災害医療
 - viii. 救急医療と医事法制
 - ix. 研修内容
 - x. 外来症例の初療:
 - xi. 入院症例の管理
 - xii. 病院前診療
- 8-7 研修の管理体制: 救急科領域専門研修管理委員会による
- 8-8 週間スケジュール

レクチャーは週に1回程度、モジュール形式で実施。

	月	火	水	木	金	土	日	
7:00	抄読会							
8:00	ICU 回診							
9:00	ICU カンフ	ICU カンファレンス(多診療科・多職種合同), 救急科入院患者カンファレンス,						
	前日の救命救急センター患者レビュー							
10:00	救命救急セ	ンターでの	初療,ICU	での集中治療	寮,病棟入	シフト体制	削にて救命	
11:00	院患者の診	療				救急センタ	ヲー勤務,	
						ICU 勤務		
12:00								
13:00	レクチャ	救命救急せ	2ンターでの	初療, ICU	での集中治	シフト体制	削にて救命	

14:00	ㅡ, リサ	療,病棟入院患者の診療	救急センター勤務,					
15:00	ーチカン		ICU 勤務					
	ファレン							
	ス, etc.							
16:00	各ワーキンググループのカンファレンス							
17:00	ICU カンフ	アレンス(多診療科・多職種合同), 救急科入院						
	患者カンフ	患者カンファレンス,日中の救急外来患者レビュー						
18:00	シフト体制	にて救命救急センター勤務,ICU 勤務						

- 26) 独立行政法人地域医療機能推進機構中京病院救急科
- (1) 救急科領域の病院機能:三次救急医療施設(救命救急センター),日本救急医学会指導医指定施設,災害拠点病院、地域メディカルコントロール(MC)協議会中核施設
- (2)指導者: 救急科専門医5名(うち指導医3名)
- (3) 救急車搬送件数 (救急科が診療): 2,200/年, (病院全体では5,500/年)
- (4) 救急外来受診者数(救急科が診療):3,900人/年,(病院全体では19,500人/年) ※ 当施設では救急医が重症救急患者に集中できる体制を構築してきました。全ての重症度の救急患者を病院全体で分担して対応し,救急医はそのうちの重症例(ホットラインの救急車および来院して重症と判断された非ホットライン救急車・Walk in)を担当します。
- (5) 研修部門:三次救急医療施設(救命救急センター:救急外来、手術室,カテ室,救命救急センター集中治療室/HCU),災害拠点病院
- (6)研修領域と内容
 - i. 救急外来における救急外来診療(クリティカルケア・重症患者の診療が主体)
 - ii. 外科的·整形外科的救急手技·処置
 - iii. 重症患者に対する救急手技・処置
 - iv. 救命救急センター集中治療室/HCU における入院診療
 - v. 救急医療の質の評価 ・安全管理
 - vi. 地域メディカルコントロール (MC)
 - vii.病院前救急医療(地域メディカルコントロール:MC)
 - viii.災害医療
 - ix.救急医療と医事法制
 - x. 他科専門研修(麻酔科)
- (7)研修の管理体制:救急科領域専門研修管理委員会による
- (8) 週間スケジュール

時	月	火	水	木	金	土	B
08:30			_	把握。症例検言			
9		当 重					
10	求	ェ 牧命センター入					
11			抄読会 勉強会				
12			診療	休日•時間外			
13	3	枚急外来, :	当番当直医が 救急外来担当,				
14			ICU入院患者管理				
15							
16	形成外科と 症例検討						
17:15		申し送り					

- 27) 北部地区医師会病院(連携施設)
 - (1) 救急科領域の病院機能:二次救急医療機関
 - (2) 指導者: 救急科指導医0名、救急科専門医0名
 - (3) 救急車搬送件数:1,964/年
 - (4) 救急外来受診者数:10,266人/年
- (5) 研修部門: 救急外来
- (6) 研修領域と内容
- I. 救急初期診療(BLS、ACLS、ICLS、JPTEC、JATEC)
- II. 病院前診療
- III. メディカルコントロール (MC 協議会)
- IV. 集中治療
- V. 離島・へき地診療応援
- VI. 一般的な救急手技、処置
- VII. オフザジョブトレーニングコースの履修
- (7) 施設内研修の管理体制:専門研修管理委員会
- (8) 週間スケジュール: 月曜日 火曜日 水曜日 木曜日 金曜日 土曜日

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日				
(8:30~9:00)	救急外来カンファレンス									
8:30~17:30	研修領域	研修領域	研修領域	研修領域	研修領域	研修領域				